



「チームたかしま便り」 ～高島市の医療、介護、福祉に携わる皆様とともに～

第7号
2026. 7 発行

“酷暑”の夏がやってきました。
これまでに経験したことがないような厳しい暑さです。油断せず、日陰に避難して、こまめな水分補給を忘れずに！
市民の皆さんを守るためにも、まずは自分の身体を労わってください。
この夏を乗り切れるよう、食事、睡眠、休養に気をつけましょう。

高島市医師会 岸本会長の司会のもと、「第164回高島市医療連携ネットワーク運営協議会」を開催しました。

「第164 高島市医療連携ネットワーク運営協議会」 6.4 開催



在宅医療・介護連携の大きなテーマのひとつである“ACP”“意思決定支援”に関して話題提供をしていただきました。
最期まで自分らしく生きること、本人が望む暮らし方を支援するためには、医療や介護等に関わる関係者が、
本人の想いをどのように聴き、尊重し、連携して、つないでいくことができるかも、大きなポイントとなります。
チームで想いを共有していくことの大切さを学ぶ機会となりました。



「みんなで話し合いを始めませんか ～アドバンス・ケア・プランニング～」

前川直美氏 高島市民病院 外来化学療法室

看護師長・がん化学療法看護認定看護師

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について

ACPは、必要に応じて信頼関係のある医療・ケアチーム等の支援を受けながら、本人が現在の健康状態や今後の生き方、さらに今後受けたい医療・ケアについて考え(将来の心づもりをして)、家族等と話し合うことです。
自分で意思決定することが困難になったときには、これまでの本人が表明してきた内容にもとづいて、家族等と医療・ケアチーム等が話し合いを行い、本人の価値観を尊重し、本人の意思を反映させた医療・ケアを実現することです。

重要なこと

- ・在宅医療・介護のチームで取り組むこと
- ・本人が「どのような生活を送りたいのか」「どのような生活を送りたいと思っていたのだろうか」を大切に意思決定を共有する取り組み
- ・本人の価値感や希望、病状や選択肢についての考えを見える化し、話し合うプロセス

ACPの主な目的 ①本人の価値観を大切にする ②将来の意思決定に備える
③家族の負担を減らす ④多職種で方向性を共有する

- ・本人、家族、医療や介護関係者で、話し合いを繰り返す
- ・チームで話し合い、情報を集め、記録し共有する
- ・本人のそのままのこぼれを残し、その想いを伝えていく、つないでいく



<意見交換> 多職種で事例について話し合いました

- ・本人、家族の思いが違うので第3者が入って、何故そう思うのかを聴き取り、メリットやデメリットも伝えていく必要がある
- ・本人の意思というより家族の意思ですすんでいくことも多く、お互いの信頼関係がないと話にならない
- ・「たかしまマイウェイノート」が活用していけるとよい 等

まとめ

- ・本人の今の思いや安心できる生活、大切にしていることを少しずつ聞いていく関わりが大切
- ・急変への備えを、自然に話せる声かけができるとよい
- ・想いを受け止めることが大切
- ・繰り返し聞き、本人が希望を言葉にできているか、意思表示ができれば重要な情報として共有していくことが大事
- ・家族中心になりすぎないよう、まず本人に聞く姿勢を大切にする

何気ない雑談の中で、ふとこぼれる想いもあります
そんな言葉がとても大事な意味を持つことも..
チームで共有することで、
他の職種が違った視点で聞いてくれると
重い扉が開くこともあるのかも..

そっと耳を傾けて聴いてみたら..
あふれる想い、大切にしたい想いが、こぼれだす
見ようとしないと見えないものかも..
「見えないけれど、あるんです」



高島市薬剤師会の取組み ACP 啓発、たかしまマイウェイノートの活用

高島市薬剤師会では、高島保健所の協力を得て、「たかしまマイウェイノート」を使った ACP の取り組みをすすめています。

薬局にこられる方に、健康状態を尋ね、服薬状況等を確認しながら、ひと声かけて..

ACPの大切さ

ノートを使って自分の想いを記録していくこと

家族や大切な人に伝えておくこと

等を伝えて、ノートを手渡ししていただいています

ノートに貼れるシール(高島保健所が作成)を選んで、想いを書いて、書けたら貼る

次回の来局時にも、尋ねてみて、違うところのシールを書いてみる.. 等

じっくりと話す時間がとれない中で、少しずつノートを書いていただける方を増やしていただいています。

薬剤師さんから声をいただきました

「ACPは普段の服薬指導や何気ない会話の中からでも始められます。
忙しい薬局業務の中で、すべての患者さんに実施することは難しくても、
まずは一人ひとりの「大切にしていること」を聞く姿勢を持つことが、
患者さんの暮らしを支える第一歩になると感じています。」

患者様が、「何を大切に」「どのような生活を」「誰に頼りたい」等、
来局のたびに、
その時々のお思いを記録してみませんか。

私たち薬剤師も、
たかしまマイウェイノートを通して
患者様をより深く理解し、医療・介護に携わる皆様
とともに寄り添ってまいります。

こういった取組みの中で、チームで共有すべきことは、連絡をしてくださることになっています。
市民ひとり一人にとって、ノートが自分の想いや望む暮らしを記す大切なものになることを願っています。
そして、本人と家族や大切な人、医療や介護関係者が、本人の生きる希望を共有できるツールになっていくことが
望まれます。

高島市には「たかしまマイウェイノート」があります！

想いをつないでいくために、できる限り想いが表明できるうちに..

高島市民の皆さんと、関係機関全体でぜひ活用してください。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ひとり一人の望む暮らしの実現に向けて
チームで取り組みましょう



【ネットワーク 次回の予定】 薬剤師会の取り組みをご報告いただきます

「第166回 高島市医療連携ネットワーク運営協議会」

日時：2026年 9月 3日(木) 午後 2時～3時15分

会場：安曇川公民館 ふじのきホール

話題提供：『ACP 啓発、「たかしまマイウェイノート」の活用 薬局での取り組み』(仮)

話題提供者：高島市薬剤師会

ふれあい薬局・高島 管理者・管理薬剤師 吉永 礼子先生

ご参加 お待ちしております



【お問合せ先】<事務局> 高島市医師会 在宅療養支援センター
〒520-1121 高島市勝野 1667 高島市民病院内
TEL:0740-20-9005 FAX:0740-20-9006